

「潤いのある都市をつくる森林」



報告題目ならびにパネリスト

写真：「丹沢山地玄倉川」 神奈川県自然環境保全センターより提供

- **基調報告 潤いのある都市と森林**
木平 勇吉 氏（東京農工大学名誉教授・元日本大学教授）
 - **濁水のない安全な森林流域管理体系を実現する行政と研究との協働**
内山 佳美 氏（神奈川県自然環境保全センター）
 - **都市民ボランティアによる山麓地域の環境整備への支援活動**
藤沢 直樹 氏（日本大学生物資源科学部）
 - **多様な森林生態系を守る ーシカと森林との一体的管理ー**
田村 淳 氏（神奈川県自然環境保全センター）
 - **森林管理を支える林業、そして林業を支える技術**
吉岡 拓如 氏（日本大学生物資源科学部）
- コーディネーター： 園原 和夏 氏（日本大学生物資源科学部）

2016年 3月27日

9:30 ~ 12:00

日本大学生物資源科学部
本館 大講堂



（開催趣旨）

本シンポジウムは、日本大学生物資源科学部が所在する地元神奈川の森林研究の特徴を象徴するタイトルとして「潤いのある都市をつくる森林」とした。神奈川県900万の人々が暮らす大都会と自然とが身近に隣接する地理的、社会的な特徴を前面に掲げた。それに付随して人間の生活を潤す自然の恵みを日常的に享受するのに森林科学の力が大いに期待されている。現在の研究者が現実の森林問題に科学的に如何に 대응するかをアピールしたい。丹沢山地は過去30年にわたり多くの人や市民の目にも見える形で森は壊れてきた。これに対し森林環境問題についての市民意識は高く、活動は大変盛んで、その歴史と実績がある。一方多くの研究者は、多方面で研究協力してその成果を上げ、解決の方向を体系化し、社会に示してきた。この大会を機会として、これらを研究者として、課題として意識を高める機会となれば、日本大学生物資源科学部が神奈川で森林学会大会を主催する責任を果たすことになる。

お問合せ先

日本大学 生物資源科学部
公開シンポジウム担当

E-mail: jfs127@brs.nihon-u.ac.jp

申込み不要

本シンポジウムは、参加費無料の一般公開です。
非会員・一般の方もぜひご参加ください。